

JOCA Kyushu Letter



特定非営利活動法人九州海外協力協会
Japan Overseas Cooperative Association of Kyushu

事務局長挨拶

“暑さ寒さも彼岸まで” 古人の言は傾聴に値する今年の猛暑でした。ロンドンオリンピックの熱気と猛暑日のニュースを毎日TVの画面で見えていたと思っておりましたら、彼岸入りに合わせた台風の接近ですっかり秋に衣替えしていました。凌ぎやすくなりましたが、急激な気候変化で体調を崩された会員がおられるのではないのでしょうか。体調管理に気をつけて下さい。

さて、前月号で紹介しましたBOPビジネスの「カンボジア命の水プロジェクト」がいよいよ始動します。リーダーの森社長（輝水工業株式会社）のカンボジア関係機関（大使館・JICA他）への挨拶回りに続き、現地調査ミッションの派遣も終了し、11月には当協会職員を含む活動計画作成調査団が派遣される予定です。マダガスカル希少動物保護事業に続く、2件目の海外事業案件ですが、日本大使館始め、関係者からも期待されているプロジェクトとの報告を受けていますので、1日も早くカンボジアの貧困層に、安心して飲める廉価な飲料水が提供できるよう、協力隊経験者集団の力を発揮したいと思います。

事務局長 花田

インターンシップ生紹介

倉本 有紗（九州国際大学 2年）

私は今回の実習の中で、様々な体験をさせていただきました。私にとって、そのほとんどが初めての経験で、苦戦しながら作業もありましたが、本当に楽しく実習を進めることができ、とても貴重な体験をすることができたことを実感しています。これからも、九州国際センターと、大学が近いこともあるので、交流プログラムや、ボランティアを通して繋がりを持つことができたらと思います。

北九州事務所
8/6~8/17



濱田 絵理子（北九州市立大学 3年）

「出前講座」や「実体験プログラム」など様々な企画に参加させていただきました。元協力隊の方々のお話を子供たちと一緒に聞いたり高校生のグループに加わり、一緒に開発プロジェクトを練って頭を悩ませたりしました。職員の皆さんの仕事内容を理解すると同時に自分自身興味のある協力隊についての体験談等も聞かせていただき、毎日が学びと発見の連続で、今まで過ごした夏の夏休みよりも濃く中身の伴ったものになりました。

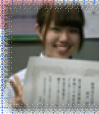
北九州事務所
8/20~8/30



坂元 佑衣（福岡女子大学 2年）

9月6日から20日まで、九州海外協力協会博多事務所の方でインターン生として研修させていただきました。花田局長、田中さん、武井さんにはたくさんのことを教えて頂いただけでなく、ご自身の協力隊としての体験談等、聞かせてもらったりと、お三方のおかげでとても充実した2週間を送ることが出来ました。本当に感謝しています。毎日、きづかされることや学ぶべきことの連続で、ここでのインターンの経験が後期の授業へのモチベーションとなりました。

博多事務所
9/6~9/20



徳増 瑛子（福岡女学院大学 1年）

インターンシップに参加して、JOCAやJICA九州の方々に出会ったことが何よりも良かったです。JICA九州の方々と関わっていくうちに自然に青年海外協力隊を身近に感じるようになっていました。また、研修生と交流することでより勉強を頑張ろうという励みになりました。

北九州事務所
8/30~9/12



キャリアスクーププロジェクト

今年度から九州インターンシップ協議会が実施しているプロジェクトで、職場体験を通してのインターンシップとは別に、学生達が福岡の地元企業に直接取材に行き、魅力を伝えるというものです。当協会も取材を受け、その記事はホームページ上に公開されています。当協会の魅力を学生の目線で紹介していただいておりますので是非アクセスしてみてください。ホームページURL：<http://www.crerea.jp>

太田 愛美（九州工業大学 3年）

私はJOCA九州の博多事務所です。インターン生として8日間働かせてもらいました。8日間で毎日いろんなことに気付かされ、たくさんを学びました。周りの方々は皆、協力隊として海外に派遣された方たちばかり、皆さんと話したりするのが毎日新鮮でした。絶対に他では経験できない貴重な体験をすることができました。本当に皆さんありがとうございました！！！！いつか私も協力隊になりたいです。

博多事務所
9/18~9/27



JICA高校生国際協力実体験プログラム

毎年夏休みの時期に九州各県から高校生が参加して行われる「高校生国際協力実体験プログラム」が、今年も8/3～8/5と8/22～8/24の2回JICA九州で行われました。

各県の国際協力推進員が主体となり行っているこのプログラムですが、例年JOCA九州は事務窓口の他、クバーラの体験などで携わっております。また、今年度は募集要項のスタッフ紹介ページに我々JOCA職員も加わらせていただきました。これは、女性が大半を占める推進員だけの紹介では、男子生徒の参加が少ないということで試みられました。現在男性しかいないJOCA九州にはもってこいの役回りです。実際の効果は定かではありませんが、参加生徒の半数が男子という期待以上の結果となりました。

今年度の参加人数は、全15校で生徒56名、教員15名でした。また、離島からの参加が3校あり、なかなか他の学校の同年代とも関わる機会の少ない生徒にとっては、とても良い経験となったことと思います。プログラムは主にグループワークが主体ですが、全員が違う学校の生徒と組むようになっているので、参加生徒に書いてもらった多くのアンケートに、「考え方の違う他県他校のメンバーと、話合って意見をまとめるのが大変だった。」と書いてありました。プログラムを通して相互理解や異文化交流を実体験してもらうことが出来たのではないかと思います。将来、協力隊に是非参加したいという意見もたくさんあったので、この経験を活かしながら進路を考え、自分の目標に向かって頑張っていって欲しいと願っております。(田中)



インターン生による 「UNICA」発足

これまでJOCAでは、たくさんの大学生をインターン生として受け入れてきました。今回のJICA九州内の3人のJOCAインターン生を中心に、インターン生同士のコミュニティをつくらうという提案の下、「UNICA」ユニカが発足しました。大学生による国際協力活動についてはこれからですが、過去のインターン生や同じ大学の友人等も巻き込んで、国際協力関係の活動を行う予定です。(森川)



JICA民間連携事業紹介セミナー

9月6日(木)に福岡天神センタービルの8階で「JICA民間連携事業紹介セミナー」が開催されました。この事業は、平成20年の新JICA発足時に設立された民間連携室がすすめている事業で、持続的な途上国の成長にODAだけでやることには限界があるため、ODAと民間企業との連携を進める目的で行われています。具体的にはBOPビジネス(低所得者層をターゲットとしたビジネス)やPPPインフラ事業(官民協働によるインフラ整備)等における、開発途上国への民間企業進出を、ノウハウを持っているJICAが、技術面・資金面の両面でサポートしていくというものです。JOCAレターの前号(26号)の事務局長の挨拶の中で少し触れていますが、JOCA九州としても法人会員の輝水工業(株)さんとカンボジアでのBOPビジネスに関わらせていただいております。また、民間連携ボランティア制度(グローバル人材育成・確保のために企業のニーズに合わせてボランティアを派遣する制度)についての紹介もしました。

当日の参加企業数は約20社。協力隊OBも参加して、事業説明の後に隊員の活動報告や、地元の協力隊OB採用企業からの報告がありました。セミナー終了後、すでにいくつかの企業からの問合せもあり、ODAを活用した官民連携事業を知ってもらうよい機会となったのではないかと思います。また、グローバル人材という観点から、協力隊経験者という人材を企業にアピールすることができたと思います。

今後は九州各県でも行なわれる予定になっていますので、お時間ありましたらご参加下さい。(田中)

福岡教育大学附属小倉中学校2年生 職場体験@JICA九州

9月4日～6日に小倉中学校から2年生が4名(女子1名、男子3名)来訪し、三日間の職場体験を行いました。プログラムは、JICAの説明、協力隊体験談、交流プログラムの同行、フロントや図書館の業務体験、民芸品の仕分けなど盛りだくさんの内容で行われました。最終日は、一人ひとり課題を決め、プレゼンを行いました。参加した中学生は、まとめ方、発表の仕方などとてもスキルが高く、聞く人たちの興味を惹く素晴らしいものばかりでした。

先日、JICA九州センターに生徒から感想が届きました。「将来は、外国人とかかわる仕事をくわった。」「ぜひ、協力隊に参加してみたい。」など、将来の進路を決めるためのよい体験になったようです。(田淵)

夏の教室 2012

8月は、出前講座の中の特別プログラムとして、夏の教室を行いました。今回、北九州市子育て支援課の協力の下、11校の放課後児童クラブの方で講座を行いました。内容としては、前半協力隊のOB/OGがそれぞれ協力隊体験談を話し、後半はマダガスカル遊び、クバーラを行いました。夏休みの小学生は、どの学校でも真夏の暑さにも負けず、どのクラブでも子どもたちにとって、貴重な体験と良い思い出となったようです。(森川)



JOCA活動報告

7月～9月



JICA青年研修農村振興コース

国内版、国際協力。ジャイカ青年研修。開発途上国のヤングリーダーがはるばる、南太平洋のパプアニューギニア、トンガ、ソロモン諸島、ミクロネシアから、19名が福岡と鹿児島に(7/4～7/16)来日しました。

研修の目的は日本の農村振興を学び、自国の地域振興に役立てることです。福岡では、農林水産部農林水産政策課が行う県の取組事例を学び、飯塚市の古野合鴨農家を視察、農村調査手法(PRA)を学ぶことができました。鹿児島では、JA、農村女性の活動、行政に頼らない地域再生を実施する柳谷町などの視察や講義などを受け、最後には農家への農村実習研修を実施しました。

私が今回、農村振興コースで初めて、プログラムを組み研修のコーディネートを行ったのですが、国内向けの青年海外協力隊の活動に近い感じでありました。地元の行政の方々や、農家さん、元協力隊の方々に協力を頂き、13日間の研修を終了することができました。来日した研修員を通じて、日本も元気にできればと考えると、元協力隊で良かったと思えました。これからも、国際協力を通じて、世界も、日本も元気にできればと思っております。

最後に、青年研修受け入れ事業、及び、当協会にご協力を頂きました皆様に、この紙面をお借りして、御礼申し上げます。(福永)



JICA青年研修

初中等理科教育コース

今年も大洋州4カ国(パラオ・パプアニューギニア・マーシャル・バヌアツ)から教育関係者が来日致しました。総勢20名が福岡県内の教育関係施設訪問や講義等を受け、9/7～9/19の研修日程を無事全員終了し、笑顔で帰国していききました。

北九州市立児童文化科学館では、多くの先生方から身近な実験材料を使用した科学実験の手法を学ばせて頂き、西花畑小学校では児童たちと給食を一緒に食べ、昼休みも言葉を超えた交流をさせて頂きました。また庄内中学校・明治学園中学高等学校でも授業視察をさせて頂き、教員の方々との意見交換を行い、生徒中心の授業方法・板書の書き方・クラスマネージメント等様々な事を学ぶ機会となりました。その他にホームビジットを通し、多くの御家族と文化交流を行うことができました。

この他にも本当に多くの方々に支えられ、おかげさまで無事に終了することができました。この場をお借り致しまして、御礼申し上げます。本当にありがとうございます。(武井)



「世界も、自分も、変えるシゴト」

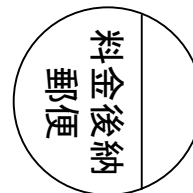
JICAボランティア



- ・青年海外協力隊
 - ・日系社会青年ボランティア
 - ・シニア海外ボランティア
 - ・日系社会シニア・ボランティア
- ・募集期間 平成24年10月1～11月5日
- ・派遣期間 基本2年間
- ・派遣国 約80の開発途上国
- ・分野 計画・行政、公共・公益事業、
人的資源、保険・医療など



特定非営利活動法人九州海外協力協会
〒812-0011
福岡市博多区博多駅前3-10-34 Mビル3号館
2F AB号室
TEL:092-415-6536
E-mail:ngoqshuint@joca-kyushu.or.jp



NPO JOCA Kyushu 会員募集中

当会の活動に御賛同いただける団体・個人の皆様を募集しております。会員の方には「JOCA Kyushuだより」を送付するほか、当会主催、共催のイベント情報をご案内させていただきます。

- 個人 正会員 3,000円 賛助会員 2,000円
- 団体 正会員 10,000円 賛助会員 10,000円
- 法人 正会員 30,000円 賛助会員 10,000円

※ご関心のある方は、当会までお問い合わせ下さい。

編集後記

毎3カ月にJOCA便りを編集するに当たり、月日の流れの早さに、いつも驚かされます。ところで、私の楽しみはと言いますと、波乗り。6年目にしようやく大きな波にも乗れるようになり、「私の楽しみは波乗りです。」という言葉を使えるようにまくなりました。何事も継続すれば、力となり花が開くのだと感じております。(福永)

発行 特定非営利活動法人九州海外協力協会

〒812-0011
福岡市博多区博多駅前3-10-34 Mビル3号館 2F AB号室
TEL:092-415-6536
FAX:092-415-6518
HP:<http://www.joca-kyushu.or.jp/>
E-mail:ngoqshuint@joca-kyushu.or.jp

